

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値
棚倉町	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	子供たちの社会性を育み、心豊かで健やかに育つ環境づくりを推進するため、多様な体験ができる活動の場を提供する。	各地域の特性を生かし、多くの方々の協力を得ながら、多種多様な体験活動を通して、豊かな人間性や社会性を育ませるため、各小学校に子供教室を設置。	・地域ごとに特色のあるプログラムを可能な限り構築できるよう努める。また、学校及びスタッフと連携し、子どもたちが毎回楽しく参加できるような雰囲気や体制づくりに努めていく。	・本町ならではの伝統を活かした活動や、運動能力を養うため、ニュースポーツ等を取り入れるなど、多様な活動を行うことで、資質・能力の向上に努めてきた。	・子ども教室に参加することで、体験により学び、また、地域の方々とのかかわりが増える。 ・同じ年齢の児童同士や異学年との交流場所を作ることで、思いやりの心など、新たな精神面の成長を促す。	放課後子ども教室参加児童の満足度(アンケート調査)	81	%	83
	②学校と地域の課題	青少年の健全育成	地域と子供たちのかかわりを増やすことにより、子供の成長を学校と地域で共有しながら育成していける体制を作る。	地域の人材を活かし、活力ある地域と開かれた学校を推進するため、町内小学校に地域学校協働推進員を配置した。	・各学校における本制度の理解を学校担当者に深めてもらうための説明会の開催する。 ・各学校地域学校協働活動推進員間の情報交換会等の開催する。	・各学校に設置している地域学校協働活動推進員の配置の見直しした。	棚倉町が推進しているキャリア教育を念頭に、地域ボランティアが持っている豊富な経験・知識を肌で感じ、生きる力を育む。	全国学力学習状況調査における地域コミュニティにかかわる質問の該当度	88.7	%	90